

## ニュース

## 公益社団法人 空気調和・衛生工学会 『振興賞技術振興賞』受賞

「関電不動産八重洲ビルの設備計画」が、公益社団法人空気調和・衛生工学会の第39回振興賞技術振興賞に値すると認められ、関電不動産開発株式会社様、大成建設株式会社様、株式会社関電エネルギーソリューション様、明治大学建築学科教授樋山恭助様、株式会社東光高岳様とともに受賞しました。

延床面積約13,000m<sup>2</sup>のテナントオフィスビルにおいて、「中規模テナントビルにおけるAIとIoTを活用したシステム最適化による省エネと快適性の両立」を目指した取り組みが高く評価されました。具体的には以下の技術成果が挙げられます。

1. ビル特性に応じてコスト・エネルギー・CO<sub>2</sub>排出量の最適化を図るAI空調制御の導入
2. ペリメータ部における日射の影響や暖房時の夜間躯体蓄熱に着目し、放射温度・還気温度を活用したOT (Operative Temperature) 制御システムの構築
3. AI制御および実測に基づく技術開発により、ABW (Activity Based Working) オフィス向けに空間情報と温熱環境の「見える化」を実現

これらの取り組みにより省エネルギーと快適性の両立を図る新たな設備計画のモデルとして位置づけられています。今後は、さらなる実装事例の蓄積を通じて、汎用的な手法としての確立が期待されています。

(2025年5月15日受賞)

